

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第10号

令和4年7月19日 文責：有内 弘

もうすぐ夏休み、そこで夏休みに家でSDGs

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

今年はあるという間に梅雨が明け、6月のうちに梅雨明け宣言が出されました。その後は酷暑が続きました。コロナ感染対策もしながら、熱中症予防にも気をつける日々でした。すると今度は台風4号がやってきて、たくさんの雨を降らせました。7月5日は臨時休校となりました。

学校でもその都度子どもたちの安心・安全を第一に対応していますが、各ご家庭でも学校の対応等にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

さて、もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。学校では高学年が委員会活動を中心にSDGsに取り組んでいます。SDGsは持続可能な開発目標と訳されますが、簡単に言えば、環境を守り、すべての人の人権を尊重しながら経済成長をしていくことで、世界の「誰一人残すことなく」、幸せに生きられる世界を目指すということです。節電や節水、食糧をむだにしないこと、しっかり勉強すること、家族や友だちを大事にすること、すべてSDGsにつながります。この夏休みにできることからやってみましょう。

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



「ゆりかご」という運動をしています。この動きは他のいろんな技の基礎感覚・基礎技能となります。

2年生が体育の授業で先生の指示をよく聞いて、楽しんで参加していました。

【温もりのある】



きまりを守ることは自分だけでなく、他の人の安心・安全につながることを考えて、発表していました。優しい1年生です。

1年生が道徳の学習で、なぜきまりがあるのかなど真剣に考えていました。

【誇れる+夢の実現】



七月十三日に児童による代表委員会が開かれました。自分たちの学校を自分たちでよくしていこうという願いや思い、高い志にあらわれていました。

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「数字でわかる！こどもSDGs」
いまの世界の現実を知らなければ、よりよい世界をめざすことはできない。
学校に行けずに働く子どもは世界に何人？
1億5200万人（日本の人口の1.2倍）
著者 バウンド 監修 秋山宏次郎
発行所 株式会社カンゼン